



for the  
future children  
of Africa

# 第102期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

## 目次

株主の皆さまへ	1
財務ハイライト(連結)	2
特集	3
事業トピックス	5
Global Vision達成に向けた取り組み	5
とよつうNOW	6
IRインフォメーション	6



株主の皆さまへ



取締役社長

貸谷伊知郎

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第102期上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

世界経済を概観しますと、コロナ禍から回復の兆しが見えてきたものの、ロシアのウクライナ侵攻を契機としたエネルギー価格の高騰、インフレ率の高まりや急激な円安進展など、取り巻く経済環境の先行きは未だ不透明な状況です。

豊田通商グループの当上半期の業績につきましては、売上総利益は4,834億円、営業活動に係る利益は2,079億円となりました。また当期利益（親会社所有者帰属）は前年同期比237億円増益の1,512億円となりました。なお、2023年3月期の通期業績予想に関し、当上半期の実績及び今後の見通しを踏まえ、10月28日に業績予想の上方修正を実施し、当期利益2,700億円と過去最高益を更新する見通しとなっております。

配当金につきましては、中間配当金は当初予想の81円から15円増配の1株当たり96円とし、支払開始日を11月25日とさせていただきます。また、期末配当金は96円と当初予想の81円から15円上方修正しており、これにより1株当たりの年間配当金は前事業年度に比べて32円増配の192円と、13期連続の増配となる見込みです。

2022年5月に発表した中期経営計画において、豊田通商グループは「次の新しいステージ」へというメッセージを発信しました。かつてない範囲とスピー

# 財務ハイライト(連結)

ドで進む社会の変化に適応し、22年3月期の過去最高益水準を維持し乗り越えるためにも、「何々と言えば豊田通商」とお客さまに言っていただける「タグ」を増やし、「次の新しいステージ」で新たな挑戦をすることが必要であると考えています。

2022年は、当社が「次の新しいステージ」へ進むために推進している4つの重点分野のひとつアフリカ事業を開始してからちょうど100年が経つ節目の年です。8月には第8回アフリカ開発会議(TICAD 8)が開催され、「for the future children of Africa」というキーメッセージのもと、当社は25件のMOUを締結いたしました。今回締結したMOUの具体化を図り、事業を通じて現地の社会課題解決と経済発展への貢献を加速していきます。

[P3.4「特集」参照](#)

また4つの重点分野のひとつであり、昨年11月に策定した「カーボンニュートラルロードマップ2030」の中核でもある再生可能エネルギー事業、その中で重要な役割を担うユーラスエナジーホールディングスの100%子会社化を2022年8月に実施しました。同事業への取り組みを加速し、脱炭素社会への移行に貢献していきます。[P5「Global Vision達成に向けた取り組み」参照](#)

これからも、唯一無二の価値を創造しうる存在としての「タグ」、すなわち「豊田通商ならでは」と言われる事業領域の確立、貢献できる領域の拡大に取り組む我々の「次の新しいステージ」に、ご期待ください。

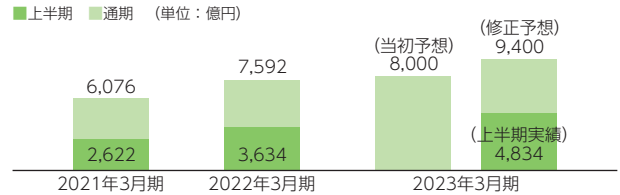
豊田通商グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具  
2022年11月

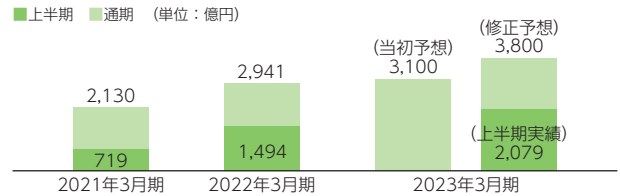
## 当上半期連結業績

当上半期の当期利益(親会社所有者帰属)は1,512億円となり、上半期の実績としては過去最高を更新いたしました。また、当期の中間配当金は、1株当たり96円とさせていただきます。

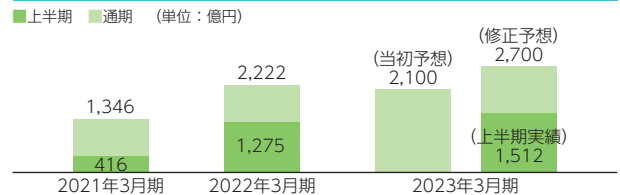
### 売上総利益 4,834億円(前年同期比33.0%増)



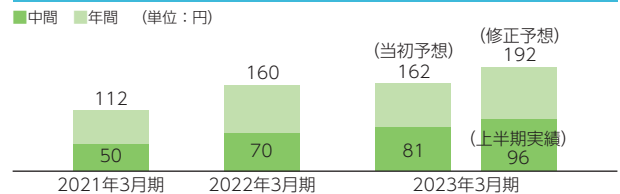
### 営業活動に係る利益 2,079億円(前年同期比39.2%増)



### 当期利益(親会社所有者帰属) 1,512億円(前年同期比18.6%増)



### 1株当たり配当金 中間配当96円(前年同期比26円増)



決算の詳細はこちらよりご覧いただけます





# 特集

# for the future children of Africa

## アフリカの未来の子どもたちのために





アフリカは全54カ国から構成され、「21世紀最大のフロンティア」とも呼ばれる可能性と未来に溢れる大陸。2022年は、豊田通商がアフリカで事業をスタートしてからちょうど100年目、豊田通商グループであり、アフリカで確固たるプレゼンスを持つ最大規模の商社CFAOがアフリカで事業をスタートしてから170年目。さらに豊田通商とCFAOが統合してから10年目に当たる節目の年でもあります。2022年8月にチュニジアで開催された第8回アフリカ国際会議（以下、TICAD8）を機にさらに加速させていく豊田通商グループのアフリカにおける取り組みとその歩みについて紹介します。

## 豊田通商にとってのアフリカ事業の位置付けと概要

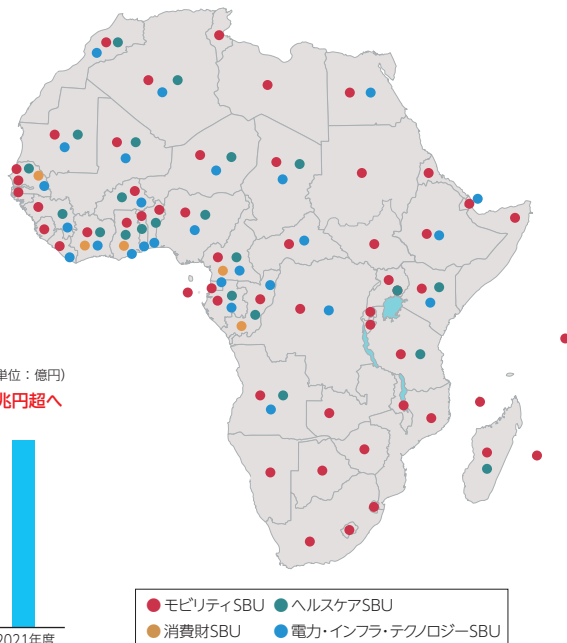
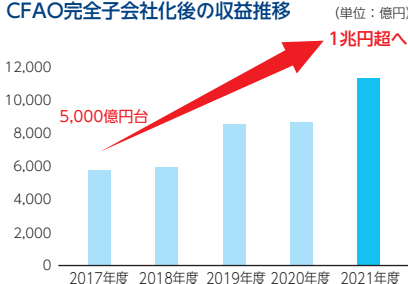
豊田通商グループにとってアフリカ事業は、社会課題の中でも優先的に取り組むべきサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）のひとつであると同時に、中期経営計画達成に向けた成長戦略のひとつです。

豊田通商グループのアフリカ事業における理念として「WITH AFRICA FOR AFRICA」を掲げモビリティ、ヘルスケア、消費財、電力・インフラ・テクノロジーの4分野を主な事業領域としています。現在はアフリカ全54カ国で、155社のグループ会社、連結従業員約65,000名の内、3分の1超の約22,000名の従業員が、現地・現物・現実の姿勢で事業を推進しています。事業規模は、アフリカ本部を設立した2017年度の収益は5,000億円台から始まりましたが、現在は1兆円を達成し、更なる拡大を目指しています。

### 豊田通商におけるアフリカ事業

 展開国	54カ国
 グループ企業数	155社
 従業員数	約22,000名
 収益	1兆1,333億円 (2022年3月期)

### CFAO完全子会社化後の収益推移



## TICADとは

Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議）の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議。1993年以来、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催しています。2022年8月27日及び28日にはチュニジアでTICAD 8が開催され、豊田通商グループも参加しました。

## TICAD8において25件のMOU締結～事業を通じた社会課題の解決と経済発展への貢献を加速～

豊田通商グループはTICAD 8で“for the future children of Africa（アフリカの未来の子供たちのために）”をキーメッセージとして掲げ、「産業変革」「グリーンエコノミー」「グローバルヘルス」「人財開発」を重点テーマに注力していくことを表明しました。TICAD 8において、アフリカ主要各国の政府、民間企業および国連機関とこの4つのテーマに沿ったMOU（覚書）を25件締結し、社会課題の解決にとどまらない、未来を見据えた価値創造事業の推進に取り組んでいきます。今回締結したMOUの具体化を図り、事業を通じて現地の社会課題解決と経済発展への貢献を加速していきます。

### 産業変革

次世代のために明るく活力に満ちた未来を創造

締結した  
MOU数

10件

### グリーンエコノミー

よりグリーンな経済成長で持続可能な社会の実現に貢献

6件

### グローバルヘルス

アフリカの人々に健康と笑顔を届ける

3件

### 人財開発

アフリカの未来を担う人財の育成

4件

包括的MOU 2件

計25件



TICAD 8のMOU締結内容の詳細はこちらプレスリリースをご覧ください



## for the future children of Africa

豊田通商グループはアフリカのニーズに寄り添うリーディングカンパニーの道を進み続けます。[WITH AFRICA FOR AFRICA]の理念の下、アフリカの子供たちの輝く未来のために、現地の社会課題解決と経済発展に貢献します。豊田通商グループはアフリカと共に挑戦し、未来を見据えた価値創造事業の推進に取り組むことで、成長し続けます。





4月	8日	東アフリカ大手薬局チェーンGoodlife社に出資 ～アフリカにおける医薬品小売分野への事業拡大～
	15日	CFAO南アフリカ、EIEグループの買収により、CFAO Equipment South Africa社を設立
	19日	国内初、名古屋港で船舶向けバイオディーゼル燃料の供給トライアルを実施 ～船舶燃料の温室効果ガス削減により、カーボンニュートラル実現に貢献～
	21日	長崎県五島列島で医療用医薬品のドローン配送事業を開始 ～離島間の長距離定期物流網の構築による社会課題解決への貢献を目指す～
5月	10日	QunaSys社との資本業務提携契約を締結
6月	13日	カーボンニュートラル実現に向けた東邦ガス、トタルエナジーズとの協業について ～水素・合成メタンなどのバリューチェーン構築を目指す～
7月	1日	ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index Series」の構成銘柄に選定
	15日	カメルーン最大級のショッピングモール「PlaYce」を首都ヤウンデに開業 ～アフリカの生活者の需要に応えるリテール事業の強化～
8月	1日	ユーラスエナジーホールディングスの株式取得完了および完全子会社化について <small>詳細は、下記Global Vision達成に向けた取り組みをご覧ください</small>
	17日	インドに医療周辺サービスを行う合併会社を設立
	29日	TICAD 8 において25件のMOU締結 <small>詳細は、P3・4の特集をご覧ください</small>
	30日	トレードワルツ社が9億円の追加資金調達を実施
	31日	米国での車載用電池工場に追加投資
9月	29日	配車サービスの車両オーナー向け管理プラットフォームを展開するFleetsimplify 社と新たな車両ファイナンス事業を展開するDrive to Own 社へ出資 ～ Mobility54/Health54 共催 スタートアップのピッチイベントで選定 ～



## ユーラスエナジーホールディングスの完全子会社化

～再生可能エネルギー事業の拡大加速に向けて～

豊田通商グループは、中期経営計画において、再生可能エネルギー事業を重点分野のひとつに位置付けています。当社は1980年代から、ユーラスエナジーホールディングスを核に国内外で、風力、太陽光、水力、バイオマスなどの多様な電源ソースで電気をつくってきました。現在、世界で3.6GWを超える総発電容量を持ち、これを2025年3月期には5GW以上、2030年3月期には10GW以上にすることを目指しています。

また2021年11月に策定した「カーボンニュートラルロードマップ2030」においても、再生可能エネルギー事業では温室効果ガス（GHG）削減に貢献する事業の推進を重要な戦略として

位置付けています。今回のユーラスエナジーホールディングスの完全子会社化により、同事業の拡大をさらに加速させていきます。

豊田通商グループは、未来の子供たちへより良い地球環境を届けるために、産業ライフサイクルを通じて、カーボンニュートラルへの取り組みを推進することで、脱炭素社会への移行に貢献していきます。





# 豊田通商らしい飛躍に向けた Toyotsu Inno-Ventures Project



「Toyotsu Inno-Ventures Project」(TIVP) は2018年に発足した、豊田通商“らしい”飛躍に向けて、社員の新規事業創出への挑戦を支援するための全社横断プロジェクトです。思いのある事業アイデアを社内で募集し、ブラッシュアップし、最終的に営業本部での事業開発につなげていくことを目的としています。これまで2021年8月に立ち上げ公開した、国際間物流のオンラインプラットフォーム「Streams\*」(ストリー

ムス)のCONNECTED機能(国際間物流マッチングサービス)を含む3つの事業が、このプロジェクトから生まれました。

TIVPは、「自分維新! さあ挑戦の 때가きた」をコンセプトに掲げており、社員一人ひとりが志を持って経営を主体的に捉え、社会課題の解決に貢献していくことを大切にしています。このプロジェクトを通じた小さな挑戦・マインドの変化が「強い個」を作り、豊田通商グループの飛躍の一端を担っています。



TIVP 推進チームメンバーと参加者



事業化に向けた議論



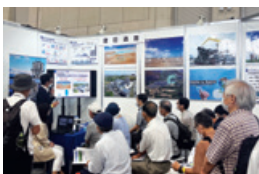
※Streams 2021年8月24日 プレスリリース



## IRインフォメーション

豊田通商グループの事業内容や成長戦略について理解を深めていただくための機会として、個人投資家向け説明会の開催やIRイベントへの参加を随時行っております。最新の情報は、当社ウェブサイト(下記②)や「IRメール配信サービス」で随時ご案内させていただきます。是非、ご活用ください。

①	<b>「IRメール配信サービス」のご登録</b> 主に四半期決算の開催情報を配信しております お手持ちのスマートフォン、タブレット等でこちらの二次元コードを読み取るか、ウェブサイトからご登録ください	
②	<b>個人投資家向け説明会の日程や資料・説明動画</b> 説明会の開催情報が決まり次第、随時当社ウェブサイト内のこちらのページを更新しております	
③	<b>各種お問い合わせ</b> 当社に関するご質問・ご意見等ございましたらこちらへお願いします	



### ～個人投資家向けイベントの様子～

9月9日(金)、10日(土) 名古屋市千種区吹上ホールにて開催の「名証IRエキスポ」へ参加いたしました。両日合わせて約5,400名の投資家の方々が訪れ、コロナ禍による3年ぶりの開催でもあり、多くの熱気に包まれました。今後も個人投資家の皆様との貴重な対話の場の機会を増やすため、積極的に説明会・イベントを開催してまいります。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料、土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京・名古屋の各証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.toyota-tsusho.com/ir/">https://www.toyota-tsusho.com/ir/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

株式の総数	発行可能株式総数	1,000,000,000株
	発行済株式総数	354,056,516株
株主数		41,671名

## 大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	所有株式比率(%)
トヨタ自動車株式会社	76,368	21.69
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,521	15.77
株式会社豊田自動織機	39,365	11.18
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,227	6.03
株式会社三菱UFJ銀行	8,098	2.30
株式会社三井住友銀行	4,249	1.21
ステート ストリート パンク ウェスト クライアント・トリーティ 505234	3,561	1.01
日本生命保険相互会社	3,522	1.00
高知信用金庫	3,245	0.92
トヨタ不動産株式会社	3,205	0.91

(注)所有株式比率は、自己株式数1,976,044株を控除して計算しています。

## TOYOTA TSUSHO CORPORATION

〒450-8575 名古屋市中村区名駅四丁目9番8号 センチュリー豊田ビル  
ホームページ <https://www.toyota-tsusho.com>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



## (ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

## (ご案内)

- 2014年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
2014年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%<sup>(※)</sup>の源泉徴収税率が適用されます。  
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。  
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。  
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

○本ご案内は2022年9月時点の情報をもとに作成しております。

## 会社情報 (2022年9月30日現在)

商号	豊田通商株式会社 (TOYOTA TSUSHO CORPORATION)
設立	昭和23年7月1日
資本金	64,936百万円
従業員数	65,218名(2022年3月31日) (出向者除き、受入出向者含む)



統合レポート2022を発行しました。  
当社ウェブサイトよりぜひご覧ください。

